

EVENT REPORT

【声優ゲーム部#4 @ 超声優祭 2024・番組レポート】

 “超”部長の豊永利行を筆頭に岸尾だいすけ&野島健児が
 『DanceDanceRevolution GRAND PRIX』で大奮闘！？
 ～声優ゲーム部念願のレギュラー放送決定も発表～

2024年4月23日（火）18時30分から、ニコニコ生放送で配信された「声優ゲーム部#4 @ 超声優祭 2024」の様をお届けします。

本番組は存続の危機に瀕している「声優ゲーム部」の部長に扮した豊永利行が出演する“動きのあるゲーム特番”をコンセプトとしたゲーム実況番組です。今回は声優の岸尾だいすけと野島健児が部員候補（ゲスト）として登場し、「超声優祭 2024」の特別回として放送されました。



<番組レポート>

オープニングでは、部長と豊永利行さんが超声優祭 2024 に参戦ということで、「きょうは“超”部長の“超”豊永利行です！」と元気に自己紹介するとコメント欄は「超部長ww」「超ww」「よっ！超部長！」などと早速盛り上がりを見せます。そんな中、前回の放送回を「ひどかったですね～」と恒例のように振り返る豊永に、視聴者は「ソロ回楽しかったですよ！」「おもしろかったよー！」とフォロー。最近の部長・豊永のゲーム事情は、『RPG MAKER WITH』というソフトを使って自分でゲームを作成して投稿するのに大ハマリとのこと。すでに複数の自作RPGゲームを公開しているそうで、「私が作ったゲームがもししたら紛れているかも……」ニヤリと笑う豊永に、「やってみたい！」「楽しそうですね～！」とコメントが沸きます。

オープニングトークが盛り上がる中、急に激しいノック音が鳴り響きます。「すみませ～ん！」というお茶目な挨拶とともに、本日の部員候補である岸尾だいすけと野島健児が登場。青色のジャージに超声優祭のTシャツ姿の二人に、「まだ部員じゃないのに部員みたいな格好している！」と豊永は大はしゃぎ。共演などがあり、昔から親交の深い三人が勢揃いしました。



ここで「入部審査」もかねて、番組恒例であるゲストのゲーム遍歴を深掘りする「私のゲームストーリー」コーナーへ。

野島は幼少期からのゲーム愛好家で、「子どもの頃は家のルールとして、ゲームを買ってもらえなかった。なので、当時 8bit の PC を使って、自分でシューティングゲームを作ったりしていた」と衝撃の過去を明かします。そのクオリティはかなり高かったようで、「兄弟 3 人でゲームを作っていたんですけど、雑誌にコーナーがあるくらい。それくらい真面目にプログラミングに取り組んでいた」（野島）。この話に豊永は驚愕し、「思ったよりガチだ！もうプレイヤーじゃなくて、クリエイターだ！」と感嘆。視聴者からも「のじけんさん多才」「ガチの方だ…」「すごい！！」と驚きの声が寄せられました。

岸尾はゲームの思い出を尋ねられると、「ドラクエ 3 の発売日に学校を休んで買いに行ったことかな～」と振り返ります。「発売日に学校を休んで朝イチでお店にいったけど、まだ入荷されてなくて。でもどうしても欲しいから、15 分刻みでレジに“入荷されていますか？”って聞きに行っていたら、レジのおばちゃんが“とっておいてあげるから、帰らな”って言ってくれた。それで入荷したら本当に取っておいてくれて、ニコニコ顔で買いに行ったよ。学校休んでドラクエやったね」と懐かしい思い出を語ります。「青春時代のあるあるですよな」（豊永）とほっこりするシーンも。



そして話題は豊永の「ゲーム好き特有の気になる話」へ。「RPG などのゲームの主人公って、自分の名前をつけますか？それともオリジナルの名前をつけますか？」と聞かれると、岸尾は「そういわれるとオリジナル派かな。カッコいいと思う名前をつけていた。だって“だいすけ”ってカッコ悪くない！？」と即答。豊永も「俺もオリジナル派！世界観にあったカッコいい名前をつけたいんですよ」と共感します。一方、野島は「“のじこ”ってつけてますね。あんまり被らないし」と回答。すかさず岸尾が「異世界の設定のゲームでも“のじこ”？」と尋ねても「勇者のじこ」でやりまよ」と笑顔で芯がぶれない野島に現場では笑いが起こりました。



続いてゲームコーナーへ。今回は「DanceDanceRevolution GRAND PRIX」をプレイ。同ゲームは、音楽に合わせて画面の下から流れてくる矢印を、足元のフットパネルで踏む音楽シミュレーションゲーム。リズムゲーム好きの豊永は「ドラムマニアっていうゲームで、全国 7 位に上りつめたこともあります。僕ドラムマニアと KONAMI さんが大好きなんです」と猛アピール。そのほかにも「beatmania、ポップン（pop'n music）、GUITARFREAKS、DDR（Dance Dance Revolution）もやりましたね」（豊永）という、岸尾は「俺も全一一緒！ゲームセンターで、高校から 20 歳くらいまでめちゃくちゃやった」と大興奮。次に「（学生時代に何のゲームを）やっていたか」という話を振られた野島は「ポップンやっていた…」と照れながらうと、コメントは「かわいい〜！」の嵐に。「好感度上げようとしているの？」（岸尾）と指摘されると、「ええ？ポップンは好感度上がるの？」と困惑する野島。「兄がダンレボ持っていて、一時期運動しようと思って部屋に置いてやっていたんだけど、暑くて全裸でやっていたな〜」（野島）と独特な思い出を語ると、スタジオは笑いに包まれました。

プレイする曲はくじ引きで決定。部長の豊永がトップバッターでの『一途（King Gnu）』をプレイすることに。さすがはリズムゲームが得意な豊永の安定したプレイに、他の 2 人も「うまくな〜！」と驚きます。「コメント欄で矢印を流して邪魔しよう！」（岸尾）と煽るものの、慌てずに着実にプレイしていきますが、さすがに最後は疲労がたまってきたのか無念のミスで終了。



